

ツアー番号
LKZX4D393A

海岸とハイキング（11日間）

11日間・10泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この11日間のツアーは、スリランカの古代都市、丘陵地帯のトレイル、南海岸のビーチを1つのプライベートイtinerary に結び、運転手付きの車で全行程を移動します。ムンネスワラム・ヒンドゥー寺院複合施設とダンブッラの洞窟寺院で始まり、その後、ポロンナルワとシギリヤの文化三角地帯の遺跡を通り、キャンディ、ハットン、エラの周辺の丘へ登ります。

沿線では、ポロンナルワ近くの村での体験に立ち寄り、牛車乗車とカタマラン・サファリ、キャンディの仏歯寺と王立植物園、アダムズピークの明け前登山、エラ上の尾根ハイキング（ナインアーチブリッジを通過）を楽しみます。ツアーの後半は、ヤラ国立公園で野生動物サファリを楽しんだ後、アハンガマ、ミリッサ、バラピティヤを通る海岸沿いを移動し、クジラウォッチング、ガレフォート訪問、マドゥ川ボートトリップ、紅茶工場とウミガメ孵化場への立ち寄りを経て、コロンボで終了します。

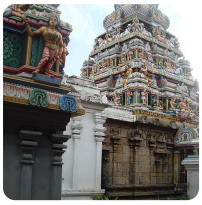
旅行者は、スリランカの歴史、丘陵地帯の景色、野生動物、海岸線を1つの継続的なプライベートジャーニーで幅広く体験でき、ペースと立ち寄り地は固定のコーチスケジュールではなくグループに合わせて設定されます。



日程詳細

1日目 空港 → ムンネスワラム → ダンブッラ

ツアーはヒンドゥー教寺院群から始まり、続いてダンブッラの石窟寺院へと向かいます。



ムンネスワラム寺院

少なくとも西暦1000年まで遡る、この地域で重要なヒンドゥー教寺院群。ラーマーヤナと英雄王ラーマにまつわる伝説で知られ、シヴァ神に捧げられたこの地域の五つの古代寺院のひとつです。

Leon Meerson · CC BY-SA 2.0



ダンブッラ黄金寺院

紀元前1世紀に遡る歴史ある石窟寺院で、釈迦の生涯を描いた壁画や、神の王の洞窟、大王の洞窟、大新僧院を含む5つの主要な洞窟に数百体の仏像や神像が安置されています。石窟群から少し離れた場所には、巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

2日目 ダンブッラ → ポロンナルワ → ダンブッラ

スリランカ第二の古代都城の遺跡と、体験型の村での時間を過ごす一日です。



ポロンナルワ

10世紀から13世紀にかけて繁栄したスリランカ第二の首都。見どころには、ガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮の浴場、ランカティラカ寺院、パラークラマバーフ王の像などがあります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

村の体験

牛車に乗り、穏やかな湖でカタマラン・サファリを楽しみ、水田を歩いた後、伝統料理のデモンストレーションと蓮の葉に盛られた手作りの昼食を味わいます。

3日目 ダンブッラ → シーギリヤ → マータレー → キャンディ

岩の要塞シーギリヤに登った後、キャンディへ到着し、夜には文化舞踊ショーを鑑賞します。



シーギリヤ・ロック・フォートレス

5世紀にカーシャパ王のために築かれた岩の要塞で、巨大なライオンの爪の形をした入口から登っていきます。登山の道中には、色褪せないことで有名な壁画、段々畑状の庭園、今も機能している貯水槽、そしてかつての宮殿へと続くトンネルを見ることができます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



キャンディ文化舞踊ショー

火の踊り手、剣の踊り手、太鼓のリズムに合わせて踊るキャンディアン・ダンサーなど、スリランカの伝統芸能を1時間にわたって鑑賞できるパフォーマンスです。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

テクニカルツアー

宝石加工、木彫り、バティック染めなど、地元の工芸にまつわる見学です。

4日目 キャンディ → ハットン

キャンディの植物園と最も崇敬されている仏教聖地を巡った後、山間部へと向かう一日です。



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に設立されたこの植物園には、珍しい大木が並ぶ並木道に4000種以上の植物が植えられており、大砲の木、吊り橋、生垣の迷路などが見どころです。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



仏歯寺

16世紀に建立され、釈迦の聖なる歯を安置・保護するために建てられたユネスコ世界遺産。彩色された広間、彫刻が施された柱、黄金の仏像などがあります。

A.Savin · FAL

5日目 ハットン → エッラ

夜明け前からアダムスピークに登った後、エッラへと移動します。



アダムスピーク

夜明け前に出発するスリー・パーダ(聖なる足跡の山)への登山で、仏教徒、イスラム教徒、ヒンドゥー教徒すべてにとって聖なる山であり、山頂の岩にある足の形をしたくぼみにちなみ、千年以上にわたって巡礼地となってきました。登山後はホテルに戻って朝食をとり、その後エッラへと向かいます。

Bourgeois · CC BY-SA 3.0

6日目 エッラ → ヤーラ

エッラの田園地帯を歩いて散策した後、ヤーラへと向かいます。



リトル・アダムスピーク

緑の茶畑や岩場を抜けて歩き、リトル・アダムスピークの景色を楽しむウォーキングです。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナイン・アーチズ・ブリッジ

橋の歴史を学びながら橋を渡り、独特のループ状の線路設計で知られるデモダラ駅へと向かいます。

Deitel55 · CC BY-SA 3.0

7日目 ヤーラ → アハンガマ

午前中にヤーラ国立公園でサファリを楽しんだ後、紅茶工場、ストーク・フィッシング(杭上漁)の見学地、ウミガメ孵化場に立ち寄りながら海岸へと向かいます。



ヤーラ国立公園

島の南東海岸に位置する、スリランカで二番目に広い国立公園。スリランカヒョウ、野生の水牛、スリランカナマケグマ、大きな象の群れをはじめ、数多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、無脊椎動物が生息しています。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0



ハンドゥヌゴダ紅茶工場

「ヴァージン・ホワイト・ティー工場」としても知られ、ヴァージン・ホワイト・ティーが手摘みされ、手作業で加工される様子を見学した後、紅茶とチョコレートケーキの試食を楽しみます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



コガラの杭上漁

海岸沿いの杭の上に座る漁師たちの姿を眺めながら、世代を超えて受け継がれてきたこの漁法の物語を聞きます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



コスゴダ・ウミガメ孵化場

スリランカの海岸に産卵に訪れる5種類の絶滅危惧ウミガメと、その巣を保護するタートル・ケア・プログラムについて学ぶ、南西海岸での訪問です。赤ちゃんガメや負傷したウミガメを見たり、触れたり、餌をあげたりすることもできます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

8日目 アハンガマ → ミリッサ → アハンガマ

午前中はホエールウォッチングを楽しみ、午後はゴールを散策します。



ホエールウォッチング

スリランカ南岸沖へ出て、シロナガスクジラ、マッコウクジラ、ナガスクジラを観察するツアーで、自然保護の専門家の案内のもと、動物への影響を最小限に抑えて実施されます。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0



ゴール要塞

かつてポルトガルとオランダの拠点であった、アジアでも屈指の保存状態を誇る要塞を巡るツアーです。海洋博物館、ゴール国立博物館、灯台、オランダ語の名が残る石畳の通りなどを訪れます。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

9日目 アハンガマ → バラピティヤ → アハンガマ

マドゥ川のマングローブ生態系を巡るボートツアーです。



マドゥ川

マングローブの水路をボートで進み、日向ぼっこをするワニやオオトカゲを観察します。シナモンが収穫される島への立ち寄り、フィッシュ・マッサージ、自然の生息地にいる水鳥の観察なども楽しめます。

SUPindia · CC BY-SA 4.0

10日目 アハンガマ → コロンボ

ツアーの最後は、コロンボの名所やショッピングエリアを巡ります。



コロンボ市内観光

旧灯台、旧国会議事堂、ゴールフェイス・ホテル、ゴールフェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館といった首都の歴史的建造物を見学するほか、独立記念広場やレースコース周辺のショップも訪れます。

Gihanud2001 · CC0

11日目 コロンボ → 空港

朝食後、ホテルから空港へ移動し、出発となります。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, Fuel, Parking & Highway tolls.
- Service of English-Speaking Chauffeur Guide.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance fees to the respective sites.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.
- Tips & Portages.